

【阿知須地域】

山口市岡山最終処分場

所在地	山口市阿知須649番地43	
総面積	12,600㎡	
竣工	昭和41年	
供用開始	昭和42年	
施設構成	埋立面積	1,630㎡
	埋立容積	4,614㎡
	埋立対象物	安定品目（ガレキ類・陶磁器くず・金属くず）
埋立方式	覆土埋立方式	



山口市阿知須清掃センター

所在地	山口市阿知須5819番地	
敷地面積	8,640㎡	
建築面積	ストックヤードNo.1	134.50㎡
	ストックヤードNo.2	273.80㎡
延床面積	653.62㎡(ストックヤードを除く)	
供用開始	①ストックヤードNo.1	平成9年6月 (缶、びん)
	②ストックヤードNo.2	平成14年12月 (その他プラ、紙製容器包装、古紙)
	③破砕機・圧縮機	昭和60年12月 (不要びん破砕、缶の圧縮)
	④その他プラスチック圧縮梱包設備	平成14年12月
処理能力	①缶	1.0t/h
	②ペットボトル	0.4t/h
	③その他プラスチック	0.2t/h



【徳地地域】

山口市八坂ストックヤード

所在地	山口市徳地八坂12番地		
敷地面積	838.7㎡		
建築面積	316㎡		
	・不燃物処理施設	136㎡	
	・ストックヤード	180㎡	

山口市徳地ストックヤード

所在地	山口市徳地船路3146番地		
敷地面積	6,446.70㎡		
建築面積	340.33㎡		
事業費	34,431千円		
(財源内訳)	(一般財源 34,431千円)		
工期	平成18年3月～平成18年6月		
供用開始	平成18年8月		


山口市徳地総合支所資源物ステーション

所在地	山口市徳地堀1743番地		
敷地面積	－（総合支所前庭駐車場に設置）		
建築面積	80.21㎡		
事業費	7,627千円		
(財源内訳)	(起債（合併特例債） 7,200千円)		
工期	平成21年3月～平成21年5月		
供用開始	平成21年6月		



【阿東地域】

山口市阿東一般廃棄物最終処分場

所在地	山口市阿東蔵目喜867番地	
総面積	22,000㎡	
事業費 (財源内訳)	792,270千円 (国庫補助金 167,460千円) (起債 582,000千円) (一般財源 42,810千円)	
工期	平成9年8月～平成12年3月	
供用開始	平成12年4月	
施設構成	埋立面積 6,500㎡ 埋立容積 26,000㎡ 埋立対象物 安定品目(ガレキ類・陶磁器くず・金属くず) 埋立方式 準好気性埋立(セル方式)	
浸出水処理施設	処理能力 30㎡/日 処理方式 生物処理+凝集沈殿処理+高度処理+消毒処理 主要設備 流量調整槽設備、回転円盤設備、凝集沈殿処理設備、消毒設備、汚泥処理設備	

山口市阿東クリーンセンター

所在地	山口市阿東生雲東分1119番地	
敷地面積	10,000㎡	
建築面積	480㎡ ・屋内ストックヤード 300㎡ ・屋外ストックヤード 80㎡ ・管理棟 100㎡	
工期	平成11年8月～平成12年3月	
供用開始	平成12年4月	
事業費 (財源内訳)	121,800千円 (国庫補助金 17,304千円) (起債 49,300千円) (一般財源 55,196千円)	
処理能力	缶類選別・圧縮機 480kg/h	

### 3. 最終処分場の推移

【山口地域】

No	場所	埋立期間	埋立容積(m <sup>3</sup> )	備考
1	岡小路 (廃溜池)	昭和40年5月 ～昭和41年3月	3,750	借上地 埋立完了
2	穂積町 (河川敷)	昭和41年4月 ～昭和43年10月	6,000	〃
3	平井西 (河川敷)	昭和42年5月 ～昭和42年10月	1,500	〃
4	上 東 (廃溜池)	昭和42年7月 ～昭和42年12月	1,000	〃
5	木戸山 (山林)	昭和43年9月 ～昭和57年3月	264,000	〃
6	深 野 (廃溜池)	昭和48年8月 ～昭和49年9月	1,800	〃
7	千 切 (荒地)	昭和48年12月 ～昭和49年3月	1,100	〃
8	河内神 (湿地)	昭和49年4月 ～昭和50年3月	3,200	〃
9	役 神 (廃溜池)	昭和49年4月 ～昭和49年7月	400	〃
10	北河内 (荒地)	昭和49年9月 ～昭和51年8月	2,000	〃
11	丸 山 (河川敷)	昭和49年10月 ～昭和50年3月	7,500	〃
12	定 田 (廃溜池)	昭和50年4月 ～昭和52年3月	12,500	〃
13	沖 田 (河川敷)	昭和51年10月 ～昭和52年3月	3,000	〃
14	山口湾 (公有水面)	昭和52年4月 ～昭和57年3月	49,700	公有水面 昭和57年9月7日
15	菅 内 (山林)	昭和57年4月 ～平成3年3月	271,000	買収地
16	神 田 (山林)	平成3年4月～	341,850	買収地 平成3年度供用開始

【小郡地域】

No	場所	埋立期間	埋立容積 (m <sup>3</sup> )	備考
1	鍛冶畑	昭和 51 年 4 月～	27,800	買収地 埋立完了
2	鍛冶畑	平成 2 年 6 月～	66,000	買収地 平成 2 年度供用開始

【秋穂地域】

No	場所	埋立期間	埋立容積 (m <sup>3</sup> )	備考
1	青江	昭和 47 年 4 月～	225,505	昭和 47 年度供用開始

【阿知須地域】

No	場所	埋立期間	埋立容積 (m <sup>3</sup> )	備考
1	岡山	昭和 41 年～	4,614	昭和 41 年度供用開始

【徳地地域】

No	場所	埋立期間	埋立容積 (m <sup>3</sup> )	備考
1	勘蔵	昭和 52 年 4 月 ～平成 6 年 3 月	2,225	借上地 埋立完了

【阿東地域】

No	場所	埋立期間	埋立容積 (m <sup>3</sup> )	備考
1	牛人屋	昭和 50 年 ～平成 12 年 3 月	18,000	買収地 埋立完了
2	蔵目喜	平成 12 年 4 月～	26,000	平成 12 年度供用開始

#### 4. 廃棄物処理の経過

【旧山口市における取組み】

年 月 日	経 過
昭和 4年 4月 10日	山口市政施行、馬車にてじん芥収集開始
昭和 7年 1月 21日	山口市じん芥焼却場完成（旭通り2丁目）
昭和13年 3月 11日	市営でし尿処理を実施
昭和16年 11月 1日	じん芥手数料の徴収開始（最低料金1か月1円20銭）
昭和28年 4月 1日	市営じん芥焼却場火入式（1日当たり焼却量7.5t）
昭和30年 2月	清掃法の実施によりふん尿汲取業者を指定
昭和31年 5月	自動三輪車購入 公共施設を直営により収集開始
昭和35年 9月	機械車1台導入
昭和35年 9月 17日	山口市し尿処理場建設用地として富田原を決定
昭和36年 1月 11日	山口市し尿処理場起工式
昭和36年 5月	機械車1台増車
昭和36年 6月 10日	山口市し尿処理場完成
昭和40年 3月 6日	山口市じん芥焼却場完成（大歳富田原町）（1日当たり焼却量30t）
昭和40年 5月	ロードパッカー1台導入
昭和42年 4月	馬車借上げを廃止して軽トラック2台に切り替え
昭和44年 10月 13日	市議会で清掃センターの移転促進請願採択
昭和46年 6月 15日	ごみ収集料金の集金を一部民間人に委託
昭和46年 9月 15日	し尿収集料金一荷（36ℓ）につき100円に値上げ
昭和47年 6月 1日	山口衛生施設組合設立（山口市、小郡町、秋穂町） （S49 山口県中部環境施設組合に改称、阿東町加盟）
昭和48年 5月 1日	し尿収集料金改訂
昭和49年 8月 1日	山口県中部環境施設組合清掃工場完成（大内御堀）（1日当たり焼却量120t）
昭和50年 4月 1日	し尿収集料金制度が定額制に変更
昭和52年 5月 1日	し尿収集料金改訂
昭和56年 9月	山口県中部環境センター竣工（小郡町上郷）（1日当たり処理量160kℓ）
昭和62年 8月 1日	山口県中部環境施設組合清掃工場増設（1日当たり焼却量180t）
平成 3年 2月	神田一般廃棄物最終処分場完成（大内矢田）
平成 3年 6月	資源回収奨励金交付制度（つくし推進事業）開始
平成 4年 4月	学校古紙回収事業（つくしんぼ設置）開始
平成 7年 6月	ごみ集積施設整備補助事業開始
平成 8年 12月	山口市リサイクルプラザ竣工（大内御堀）
平成 9年 2月	” オープン
	ビン・缶分別収集開始
平成10年 1月	可燃ごみ指定袋制度開始
平成10年 3月 26日	山口県中部環境施設組合清掃工場新設（大内御堀）（1日当たり焼却量220t）
平成11年 12月	古紙・ペットボトルストックヤード完成（山口市リサイクルプラザに隣接）
平成12年 1月	古紙（新聞・雑誌・ダンボール）・ペットボトルの分別収集開始
平成13年 4月 1日	紙製容器包装・プラスチック製容器包装の分別収集開始
平成14年 6月 1日	紙パック分別収集開始
平成16年 6月 1日	2か月の試行期間後、神田一般廃棄物最終処分場で事業系飲料缶の一部資源化開始
平成17年 4月 1日	給食残さ堆肥化開始（南部10校）
平成17年 7月 1日	山口市周布町資源物ステーションオープン

【旧小郡町における取組み】

年 月 日	経 過
昭和24年11月	山口市から分離
昭和27年4月	ごみ収集及び処理を直営で開始
平成2年4月	不燃物埋立処分場供用開始
平成5年4月	空き缶・空きビンの分別収集開始
平成8年4月	雑誌・ダンボール・新聞・リターナルビンの分別収集開始
平成8年10月	分別収集計画策定
平成12年4月	ペットボトル・プラスチック製容器包装分別収集開始
平成16年11月	廃食用油リサイクルプラント完成

【旧秋穂町における取組み】

年 月 日	経 過
昭和15年4月29日	秋穂町政施行
昭和47年4月	秋穂青江最終処分場完成
平成5年11月	空き缶の分別収集開始
平成10年6月	空きびんの分別収集開始
平成14年4月	古紙（新聞・雑誌・ダンボール）・ペットボトル分別収集開始

【旧阿知須町における取組み】

年 月 日	経 過
昭和22年11月	山口市から分離
昭和60年10月	ごみ指定袋制度開始
昭和60年11月	阿知須町清掃センター焼却炉操業開始
平成4年4月	資源再利用化事業奨励金交付制度開始
平成9年6月	ストックヤードNo.1完成
平成12年4月	ペットボトルの分別収集開始
平成14年4月	紙製容器包装・プラスチック製容器包装・古紙（新聞・雑誌・ダンボール）の分別収集開始
平成14年11月	ストックヤードNo.2完成
平成14年12月	宇部市との可燃ごみ焼却施設共用開始

【旧徳地町における取組み】

年 月 日	経 過
昭和30年4月1日	徳地町政施行
昭和46年8月1日	燃えるごみ収集開始（委託業者）
昭和46年9月1日	燃えないごみ収集開始（委託業者）
昭和47年	指定ごみ袋制度開始
昭和55年3月	不燃物処理施設完成
昭和63年6月	生ごみ堆肥化容器普及補助金交付制度開始
平成7年7月	資源再利用化事業奨励金交付制度開始
平成12年3月	モデル地区で分別収集（缶・ビン・ペットボトル）開始
平成13年8月	ストックヤード完成
平成13年10月	町内全域で分別収集（缶・ビン・ペットボトル）開始
平成14年11月	古紙（新聞・雑誌・ダンボール）分別収集開始
平成16年4月	紙パック分別収集開始

【旧阿東町における取組み】

年 月 日	経 過
昭和30年 4月 1日	阿東町政施行
昭和38年 4月	環境衛生連合会発足
昭和47年 4月	ごみ収集業務開始
昭和60年 4月	生ごみ堆肥化容器等購入費補助金制度開始
平成 2年 4月	浄化槽設置整備事業開始
平成 4年 4月	白色トレイ・紙パックの拠点施設回収開始
平成 9年 4月	一般廃棄物最終処分場建設工事着工
平成11年 4月	ごみステーション整備事業開始
平成11年 8月	クリーンセンター建設工事着工
平成12年 3月	一般廃棄物最終処分場、クリーンセンター完成
平成12年 4月	ごみ有料化の実施
平成12年 6月	ごみの分別排出の実施（8分類・12分別）

【山口市における取組み】

年 月 日	経 過
平成17年10月 1日	1市4町の合併により、新山口市が誕生。指定収集袋による可燃ごみ処理の有料化
"	生ごみ処理対策推進事業制度の統一
"	徳地地域で紙製容器包装の分別収集開始
"	つくし推進事業（資源回収事業）制度の統一
"	地域資源化事業制度の統一
平成18年 4月	小郡地域で、紙製容器包装の分別収集開始
"	給食残さ堆肥化拡大（秋穂地域3校、阿知須地域3校）
"	神田一般廃棄物最終処分場事業系搬入制限（年間10t）
平成18年 8月	徳地ストックヤードオープン
"	山口市不燃物中間処理センター建設工事着工
平成19年 3月	小郡総合支所、秋穂総合支所資源物ステーションオープン
平成19年 4月	秋穂地域で、紙製容器包装、プラスチック容器包装の分別収集開始
"	阿知須地域で、紙パックの分別収集開始
"	徳地地域で、プラスチック製容器包装の分別収集開始
"	給食残さ堆肥化拡大（小郡地域4校）
"	神田一般廃棄物最終処分場事業系搬入制限（年間8t）
平成20年 4月	リサイクル可能な古紙類の清掃工場への持込制限実施
"	事業系不燃ごみ搬入制限（年間4t）
"	金属・小型家電製品の分別収集開始
"	給食残さ堆肥化拡大（山口地域4校）
平成20年 6月	不燃ごみ、不燃性粗大ごみ持込処理手数料の改定
"	山口市不燃物中間処理センター稼働
"	粗大ごみ戸別収集制度を開始
平成21年 4月	給食残さ堆肥化拡大（山口地域4校）
平成21年 6月	徳地総合支所資源物ステーションオープン
平成21年12月	臨時資源物ステーション（山口地域3箇所）の開設
平成22年 1月	阿東町合併により、阿東地域の廃棄物処理手数料を山口市に統一



## 5. 景気動向

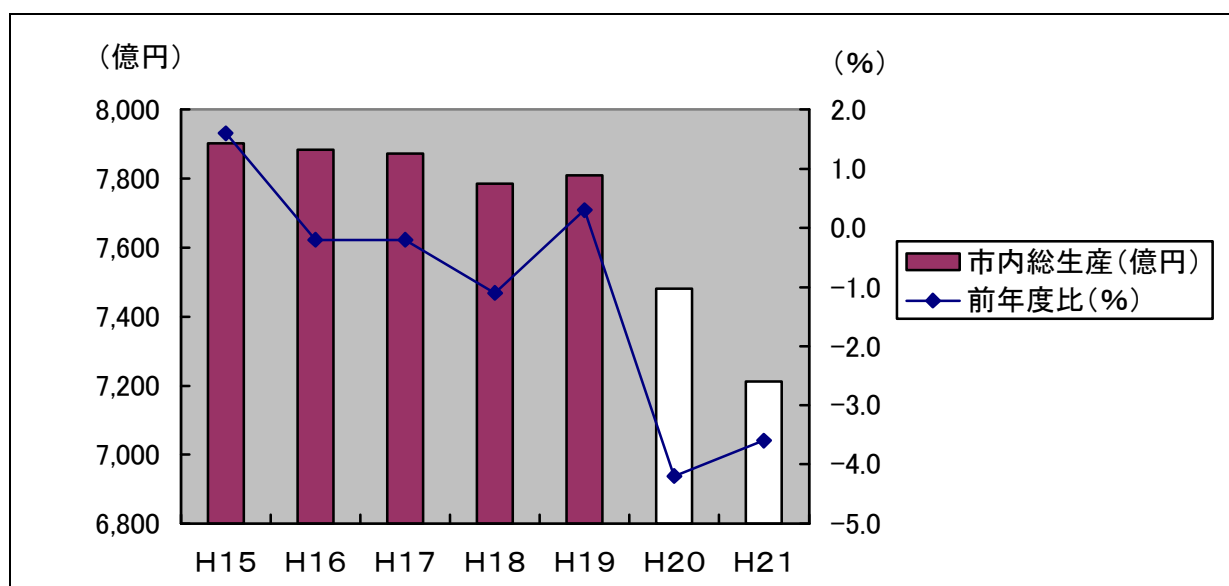
平成20年9月以降の世界同時不況の余波を受ける中で、我が国の景気動向は、国の緊急経済対策等の効果もあり、平成21年春には最悪期を脱し「底打ち」したとみられていますが、平成21年度の国内総生産（名目）は、平成20年度に続いて、マイナス成長（△3.6%）を記録し、完全失業率も5%を超えている状況にあります。

本市における市内総生産の確定値（平成20、21年度）については、公表されていませんが（平成22年12月現在）、同様に厳しい結果が予測され、労働市場においても、平成21年度の月間有効求人倍率（平均）は0.54倍、月間有効求職者数も3500～4500人で推移しました。

### ・市内総生産推移

項目	年度						
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
市内総生産（億円）	7,903	7,884	7,872	7,786	7,809	（未公表）	
前年度比（%）	1.6	-0.2	-0.2	-1.1	0.3		
国の前年度比（%）	0.8	1.0	0.9	1.5	0.9	-4.2	-3.6

※ 国のH21前年度比については、速報値



※ H20、21市内総生産については、H19市内総生産を基に国の前年度比を乗じたもの

### ・雇用動向（新規学卒及びパート含む）山口公共職業安定所管内

項目	年度				
	H17	H18	H19	H20	H21
月間有効求人倍率（倍）	1.02	0.96	0.85	0.81	0.54
月間有効求職者数（人）	3,144	3,143	3,343	3,567	4,137